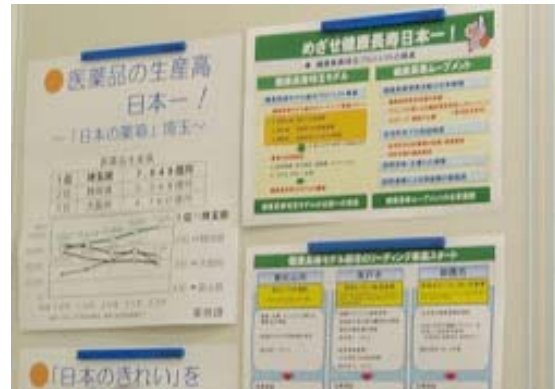


## サイタマレディース探検隊「県庁の星・部長の輪！」シリーズ

第8回 埼玉県 保健医療部長 奥野 立 様 平成 24 年 8 月 30 日取材



県庁の星シリーズ 8 人目は奥野保健医療部長を訪問いたしました。

保健医療部は私たちの生活面に深く関わりを持つ部門です。保健医療政策・国保事業・医療整備・健康長寿・疾病対策・薬務・生活衛生・食品安全の各課を要し、地域機関の保健所が属する部門でもあります。多岐にわたる職務を管轄する中で、奥野部長には貴重なお時間を頂きました。穏やかな語り口でわかりやすくご説明をいただき、そのお人柄に深く感じ入りました。

### 【「日本の薬箱」埼玉 ・ 「日本のきれい」を支える埼玉県】

取材で使わせていただいた部屋には、興味を引く様々な資料・データが壁一面に掲示されていました。埼玉県は、なんと、医薬品の生産高が日本一、化粧品の生産高は神奈川県に次いで全国 2 位だそうです。医薬品生産高では 7,049 億円と 2 位静岡県の 5,248 億円を大きく上回りダントツの 1 位です。(平成 22 年厚労省、薬事工業生産動態統計) 医薬品、化粧品分野は成長戦略分野でもあり、私たちにとっては経営のヒントがつかめるのではないのでしょうか。

### 【健康長寿埼玉プロジェクト】

ウーマノミクス・エコタウンと共に県の重要プロジェクトである「健康長寿埼玉プロジェクト」を担当されています。埼玉を日本一の健康長寿県にすることを目的に、私たち一人一人が自分に合ったやり方で“心と体”両面の健康づくりへの取り組みを推進されています

健康長寿モデル都市事業は、東松山・朝霞・坂戸の健康長寿モデル都市へ、補助金の交付や、事業推進のためのアドバイザーの派遣などを行っています。高齢者が働くコミュニティカフェや毎日一万歩運動など、身体的な健康づくりと生きがいづくりを両輪にかかげて、高齢者の就労や地域活動の再生によるモデル事業を推進しています。そして、埼玉モ

デルを全国へ発信するそうです。

健康長寿啓発活動は、シンポジウムや講演会、県民サポーター制度による、特定健診・がん検診受診率向上キャンペーンが全市町村で展開されています。特にガンは早期発見が最大の治療法ですが、受診する人は少なく、積極的に受診してほしいと奥野部長はおっしゃっています。そのためにも会員の皆さんに是非サポーターをお願いしたいとのことでした。私たちの身近には乳ガン、子宮ガンを経験された方も多く、私たち自身ができる範囲から、検診の受診を勧めたいと思います。

#### 【医療整備・医師の確保について】

救命救急センター、災害拠点病院などの基幹病院が県北部に少なく、整備が急がれます。地域連携を含めて、取り組むべき課題であるとのことでした。

人口10万人当たりの医師数が142人(2010年)と最も少ないのが埼玉県です。東京隣接県の弊害で、埼玉県内より都内の病院へ就職されてしまうとのことでした。そこで、医師を目指す県内の高校生や医大生を対象に、卒業後、県内の特定医療機関に勤務することを条件に奨学金の貸与制度を設け、将来、県内に勤務する医学生の確保に取り組んでいます。県下の医療施設に医師が来たいと思う特色を持たせなければなりません。医療設備やスーパードクターの存在等、医療機関サイドの問題であり難しいところでした。

奥野部長のお母さまが熊本から埼玉へ移り同居されてから、埼玉でいきなり大きな病院へ行くと、紹介状がないと断られてしまい、怒っていたとお話をうかがいました。私たちにも言えますが、やたらに基幹病院へ行くのではなく、一次医療から三次医療まで、お子さんの発熱から高度医療までの医療施設の使い分けは、必要なことだと思います。

#### 【動物愛護】

犬猫の殺処分が減らない現状があります。人と動物の共生を目指して、平成20年に「埼玉県動物愛護管理推進計画」を策定し、動物の適正飼育の推進や処分数の削減に取り組まれています。特に、猫は自然繁殖してしまいます。かわいそう、迷惑、どちらの考え方の人も野良猫を減らしたいと望んでいます。野良猫対策の手段として、身近でできる地域猫活動があるとのことでした。マンション、公園、個人住宅での取り組み例が、「地域猫活動ガイドブック」に記載されています。是非、地域猫活動にご協力くださいとのことでした。

最後に、介護必要者は平成18年の1.5倍に対しベッド数はほぼ同じで、介護難民は増加する一方であるとお話がありました。在宅介護も大きな社会問題となっています。生活習慣病は国民医療費の3分の1を占めており、医療費も削減しないと税制はパンクしてしまいます。「健康長寿埼玉プロジェクト」は成果を上げなければなりません。私たちもできることを実行したいと思います。詳しくは県のホームページをご覧ください。

身近なテーマに話は尽きず、お昼休みにかかりながらも対応していただきました。奥野部長、保健医療部の皆様、ありがとうございました。